

04j 情報セキュリティ対策実践 基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編

1. 研修要領

・募集定員	24名
・研修会場	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	富士通ラーニングメディア（FLM）講師：初村慶一郎
・開催月日	2026年8月5日（水）・8月6日（木）
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30（7時間/日）・2日間（14時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

2. 対象者

- ・情報セキュリティ対策技術をはじめて学習される方
 - ・情報セキュリティ対策技術を活用して、セキュアな事業や業務環境をこれから構築・運用される方
- ※前提知識として、アプリケーションやOS、ハードウェア、ネットワーク、WebやMail等のインターネットサービスの役割や機能について概要レベルでの基礎知識を理解している必要があります。

3. カリキュラムの概要

情報セキュリティ上のリスクは、企業や組織、団体に大きな被害や影響をもたらすため、適切な予防と事後対応が事業活動の中で必要不可欠となっています。本研修では、情報セキュリティ対策を進めていく上で基本となる、アクセス制御技術、認証技術、暗号利用技術、ウイルス対策技術などの基礎知識を体系的に講義で学習します。また、それらの対策技術を活用したセキュアな環境を構築・運用するための留意点をシミュレーター実習およびグループ演習を交えながら学習します。

4. カリキュラムの詳細

2日間（14時間）

	科目	時間	科目の内容
8月5日	情報セキュリティの考え方	2.5	1 情報セキュリティの現状と必要性 2 情報セキュリティの基本概念 【演習1】
	ICTシステムにおける情報セキュリティ対策技術	4.5	1 ICTシステムにおける技術的対策 2 ネットワークにおけるセキュリティ対策 3 コンピュータウイルスへの対策 4 暗号技術の利用 5 認証技術の適用 6 サーバにおける情報セキュリティ対策 7 エンドポイントにおける情報セキュリティ対策 【演習2】
8月6日	ICTシステムにおける情報セキュリティ対策技術（続き）	3.5	8 運用を支える要素技術 9 情報セキュリティの有効性を確保する要素技術の全体像 【演習3】 【演習4】
	セキュア環境の構築・運用方法	3.5	1 セキュア環境の構築と運用における取り組み 2 リスク対応方針の検討と対策の決定 3 情報セキュリティ環境における運用作業 4 情報セキュリティの実現に向けた取り組み 【演習5】
	計	14.0Hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

情報セキュリティ対策実践 基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 企業や組織、団体における情報セキュリティの必要性と、リスクに応じた対策の考え方を理解する。
2. 情報セキュリティを確保するための主な対策技術について特徴を理解する。
3. セキュア環境を構築・運用するための流れと留意点を理解する。

7. レベル

ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]テクノロジー [2]

ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]テクノロジー [2]

ITSS:ITサービスマネジメント育成 - [*]メソドロジー [2]

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名